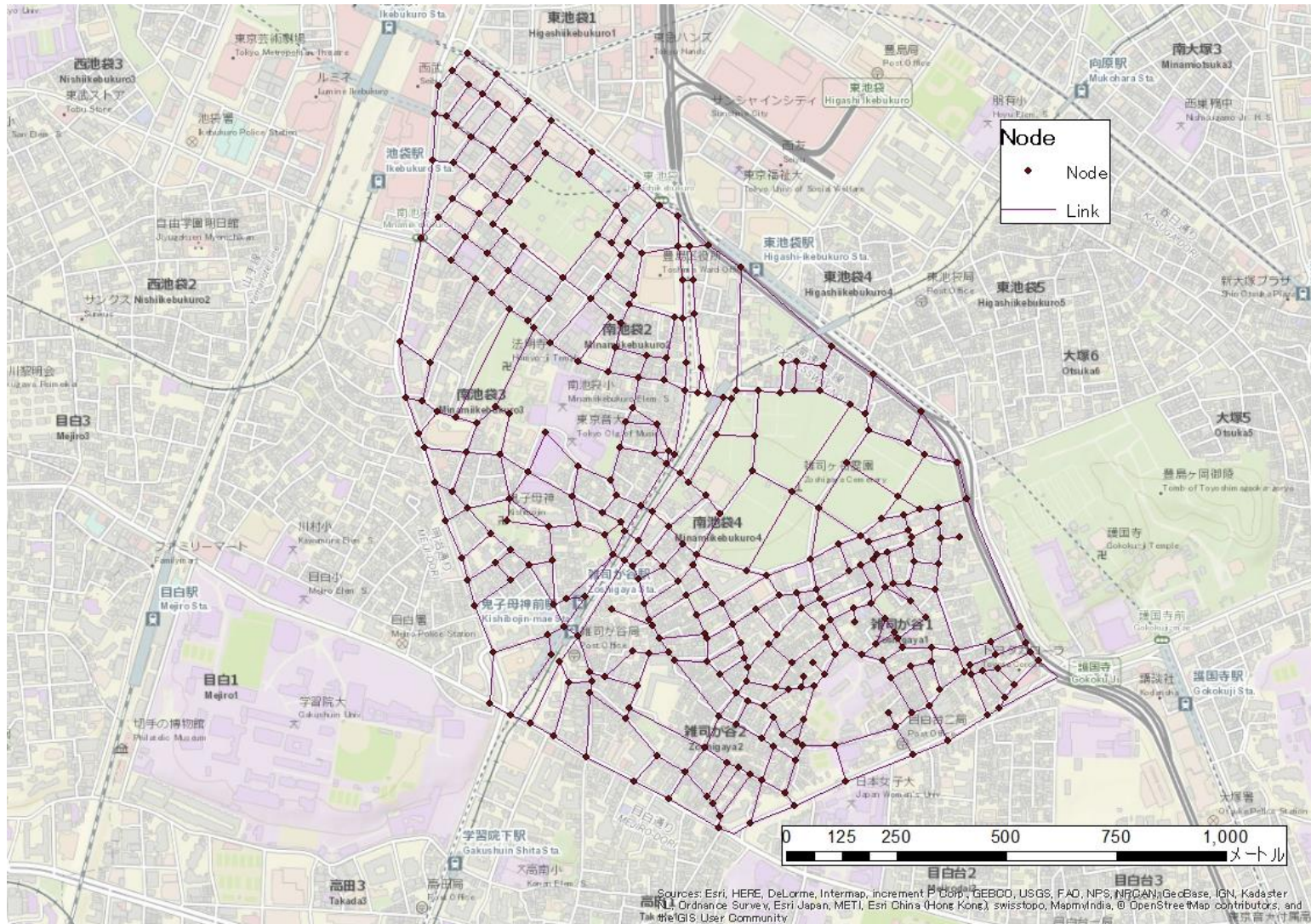


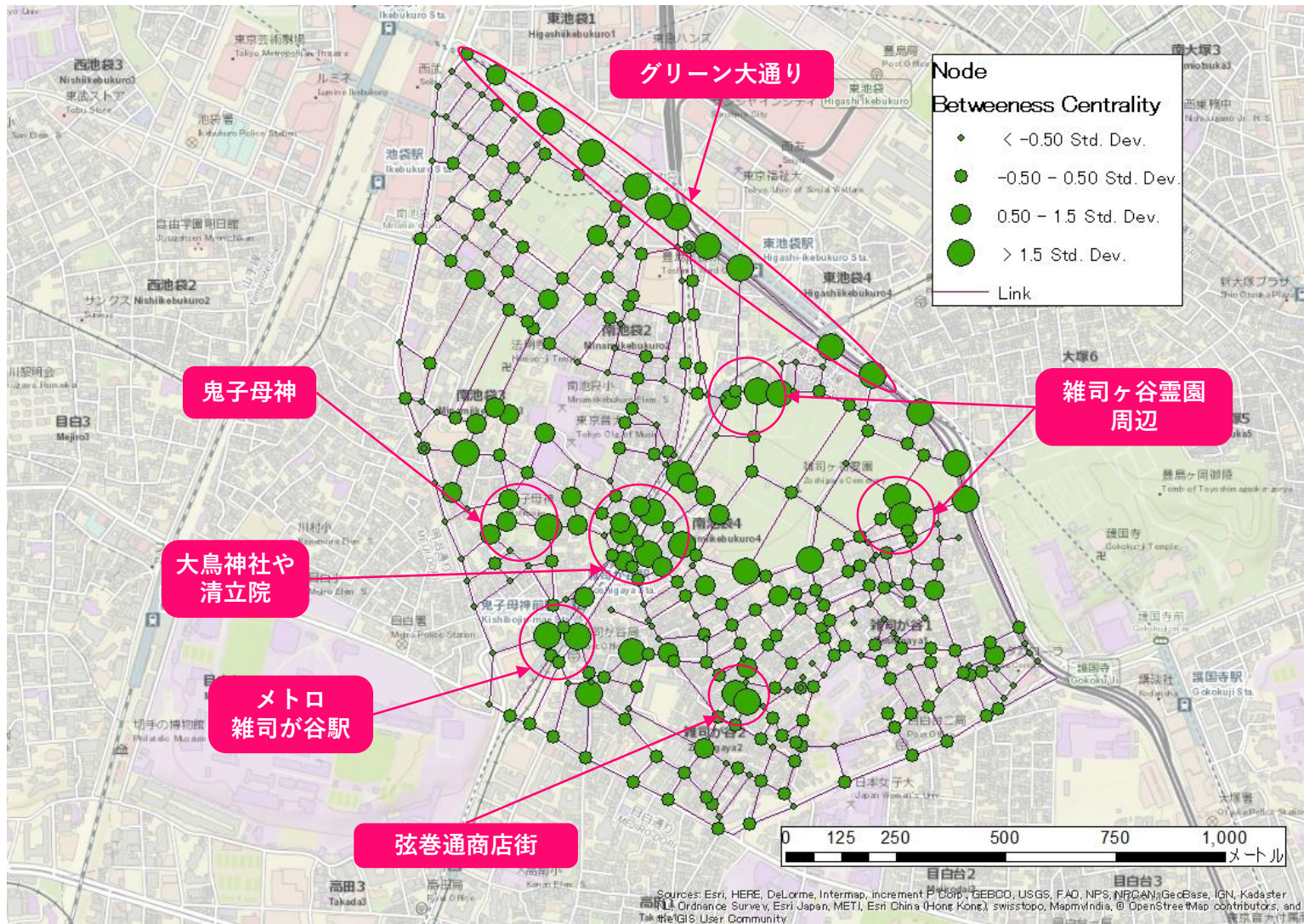
スタートアップゼミ課題発表 2 ネットワーク分析

交通研B4 出原昇馬

対象範囲 豊島区・雑司ヶ谷



分析結果 — 媒介中心性



分析結果と考察

- 駅や寺社，商店街にネットワークが集積

駅：ネットワークの集積地（鬼子母神参道）に建設.

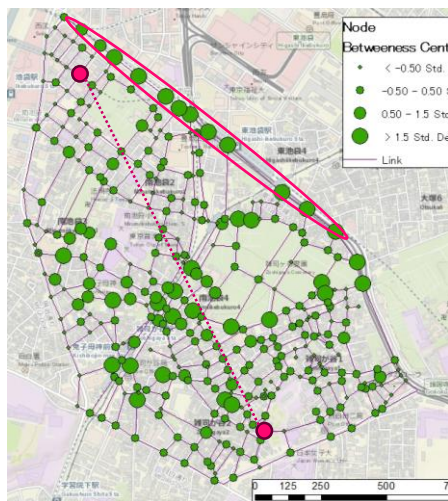
（建設後ネットワークが補強される場合もあり）

寺社：寺社とその参道を中心にして，道路が付け足されたという形成過程のあらわれ.

商店街：ネットワークの集積地（弦巻川暗渠）に自然発生.

分析結果と考察

- ネットワークの外郭であるグリーン大通りの媒介中心性が高い



媒介中心性を求めるために用いたネットワークデータには距離や道幅といった情報がなく、単純なNodeのつながりの情報のみ。

そのため距離等を考慮した実際の最短経路と、ネットワークデータ上の最短経路が異なり、本来中心性が低い外郭の媒介中心性が高く出てしまったのではないか。

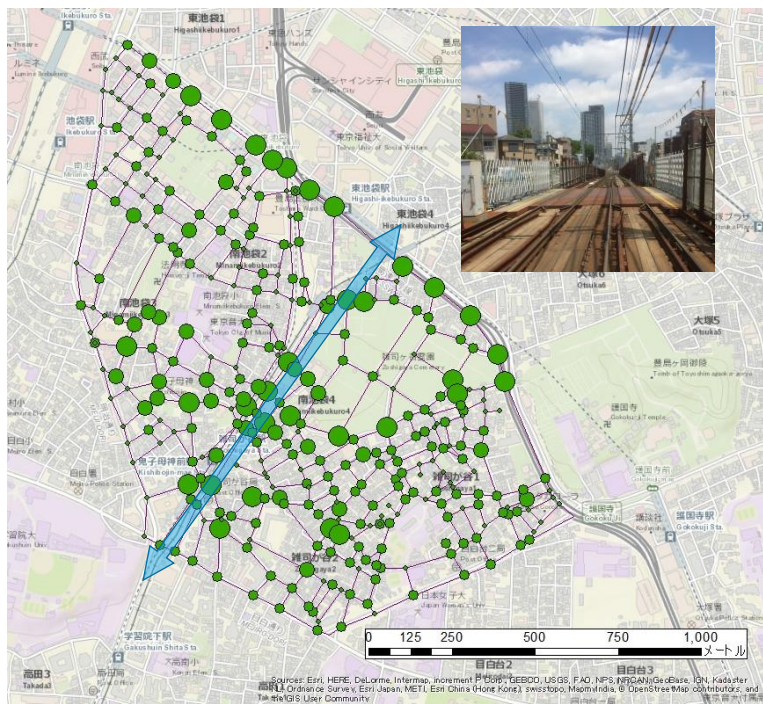


実際 : A (6分) < B (10分)

計算上 : B (1node) < A (3nodes)

より現実に即した中心性を明らかにするためには各リンクの重みづけをする必要がある。(→Dijkstra)

実際には・・・



媒介中心性の高い雑司が谷中央部は、実際には都電軌道が存在し，加えて補助幹線道路が整備中である。

人々の動線が分断されることのないよう，中心性の高いところに信号を設けるなど，適切な動線の確保が求められる。

また，中心性の高い既存の寺社や参道沿いの敷地を利用した広場等の提案が可能かと考えられる。